

予算決算特別委員会（3月15日）の審査

1. 審議経過について

予算決算特別委員会には、令和5年度一般会計予算及び10事業特別会計予算と2つの公営企業会計予算の13議案が付託された。審査は、予算決算特別委員会の全体質疑後、各小委員会へ審査を付託。小委員会の審査報告後、13議案について採決した結果、いずれも原案可決となった。

2. 審査の内容（一般会計予算の全体及び小委員会での確認事項）について

(1) 歳入について（主なもの）

○基金残高の減少は、特別交付税等の確定により積み増すこと。

○自然環境整備交付金は、「鬼の舌震」の遊歩道整備に充てること。

(2) 歳出について（主なもの）

○奥出雲まちごと子育て応援事業の支給対象者は出産祝金50人、入学祝金80人であること。

○出産・子育て交付金事業と奥出雲まちごと子育て応援事業の合算支給（妊娠5万円、出産15万円、入学10万円）であること。

○結婚・子育て支援事業の内容と一つにまとめた理由・財源内訳を確認したこと。

○仁多地域統合小学校整備事業は、仮設校舎3億円、移転補償費関係2億2000万円、校舎と体育館設計料8800万円、仮設校舎監理料1000万円であること。

○粗飼料自給対策事業は、新たに機械一式を購入。これにより作付面積5～10haの増産を計画していること。

○地域活性化企業人事業は、1名を採用して、特産品の開発と奥出雲町をPRする内容であること。

○路線バス整備事業は、馬木線スクールバス1台と八川・仁多地区の路線バス2台の購入整備であること。

○地球温暖化対策実行計画策定業務は、温室効果ガスの排出状況の削減に向けた総合的な計画であること。

○三成公園陸上競技場整備事業は、1・2レーン100m区間のウレタン取替え、他レーンは洗浄、同時に写真判定機器の

更新等を行うものであること。

○住民提案型地域づくり事業345万円は、18歳以下の町内児童生徒の「まちづくり事業」に対する助成3団体、「きらり輝く地域づくり事業」8団体を計上していること。

○奥出雲まちづくり事業500万円は、三成市街地のまちづくりと横田市街地の基本計画を検討、2年程度かけて立地適正化計画を策定するものであること。

(3) 総括

4つのまちづくりを推進する各施策に重点配分しながら、要望の多い道路、情報インフラの整備、統合小学校開校に向けた整備、及び自然災害に対応するため等の予算で総額145億1000万円（前年比1%増）。実質公債費率15.1%、町債残高は129億1600万円（2億9700万円増）。厳しい財政状況下にあっても、町民サービスの質を低下させず、将来にわたって持続可能な財政運営の確立をはかることが求められる。